

## 地域情報ゼミナール DI (その1)

2 units 3rd-year(1st semester)

Koichi Tanaka · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

**Target)** この授業は、地域に展開する経済・社会現象やその変容過程について、空間的視点から研究しようとする学生を対象としている。教員と受講者が十分に相談したうえで、「空間情報科学」に含まれるさまざまな研究領域の中から研究テーマを設定する。卒業研究(卒業論文作成)という最終目標に向かって、GIS(地理情報システム)を援用した独自の調査・分析を実施して、論理的考察を深めることを目的とする。

**Outline)** 空間情報科学ゼミナール

**Goal)** 自ら設定した課題の解明に向けての調査・分析・考察能力やレポート・論文執筆能力、プレゼンテーション能力の修得を目標としている。

**Schedule)**

1. 空間情報科学でも地域の実態を解明する手段としてフィールドワークが重視されている。3年次前期には、自分が興味や関心を抱いた研究分野の研究動向を概観するため、いくつかの研究論文を選び、内容をまとめて発表する。次に、取り上げた研究分野の中から具体的なテーマを設定し、調査や分析の方法を検討しながら、夏季個人調査の準備をおこなう。後期においては、夏季休暇中に実施したフィールドワークの調査結果を報告し、そこで指摘された課題や調査経験をもとに卒業論文作成のための準備を整える。
2. 受講者の主体的な取り組みと粘り強い努力が必要である。また、参加者全員が真剣な討論をおこなうことで、切磋琢磨しながら内容を高めていくことが期待されている。
3. 個人研究にせよ卒業研究にせよ、受講者の主体的な取り組みと粘り強い努力が必要である。また、参加者全員が真剣な討論をおこなうことで、切磋琢磨しながら内容を高めていくことが期待されている。
4. なお、両学年とも、研究テーマや発表時期など具体的なスケジュールは、地域情報ゼミナール A・B・C とも有機的な連携をとりながら、受講者と相談の上で決定する。

**Evaluation Criteria)** 毎回の授業の準備状況と討議への参加意欲とともに、数回の機会がある報告・発表内容の完成度をもとに評価する。当然ながら、単位取得には、規定回数の報告・発表をすることが前提である。

**Re-evaluation)** なし

**Textbook)**

- ◇ 参考書
- ◇ 浮田典良編『ジオパル 21-地理学便利帳』海青社、¥2,500

**Webpage)** <http://web.ias.tokushima-u.ac.jp/region/jpn/staff/kou/>

**Contents)** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218810>

**Contact)**

⇒ Tanaka . (Office Hour: 前期・後期 月曜日 16:30~ 17:30)